

目次

二〇二二年第三五回全国大会公開講演

シヨールペンハウアー哲学の人生論・世界論……………鎌田康男……………5

二〇二二年第三五回全国大会シンポジウム

「悲劇をめぐって——『悲劇の誕生』刊行一五〇周年を記念して」報告……………

高橋陽一郎……………29

シヨールペンハウアー哲学における悲劇と共苦……………林由貴子……………33

——苦の理解を通して——

ヴァーグナーとギリシヤ劇……………吉田寛……………49

——〈巻き戻された過去〉としての未来の芸術——

『悲劇の誕生』における二つの形而上学……………五郎丸仁美……………56

——根源——一者の夢と意志の芸術的遊戯——

論文

シヨールペンハウアーとフェミニニスト美学……………石川茉莉……………63

ニーチエは『教育者としてのシヨープンハウアー』において
みなが自己自身になることを目指しているのか……………石橋 諭……………79

『根拠律』における根拠の分類の変化について……………田村 仁……………96
——シヨープンハウアーによる充足根拠律の区分原理の検討——

翻訳(連載)

シヨープンハウアー『初期遺稿集』(十四)……………

共訳Ⅱ西章、シュタイナー堀郁、鳥越覚生、林由貴子、堤田泰成、太田匡洋……………113

アンドレーア・C・ハンゼルト

『二〇世紀におけるシヨープンハウアー——シヨープンハウアー協会史』(九)……………

監修Ⅱ伊藤貴雄 訳Ⅱ林由貴子……………131

書評

梅田孝太著

『今を生きる思想 シヨープンハウアー 欲望にまみれた世界を生き抜く』……………

高橋陽一郎……………138

鳥越覚生著

『佇む傍観者の哲学 シヨープンハウアー救済論における無関心の研究』……………

西章……………143